

睡眠ゼロや睡眠不足の乗務で安全と言えるのか！？ 予測される災害時の強行運行は直ちに止めろ！！

8月23日、台風20号が近畿地方に上陸した。

会社は、あらかじめ気象庁からの発表で近畿地方への上陸が予測できたにも関わらず、東海道新幹線の列車運行を優先させた結果、乗務員運用に際し、睡眠も儘らない中で乗務に従事させたことは、乗客の安全を守るどころか、乗務員の身体的疲弊やそれによる運転責任事故を誘発させかねない重大な問題があったと考える。

私たちは、さっそく会社に申し入れを行いました。

1. 台風20号の進路予想は、あらかじめ予測できたにも関わらず、東海道新幹線、東京～新大阪駅間の全列車を強行運行した理由を明らかにすること。また、列車運行を決定した責任者は、どこの誰が判断するのか明らかにすること。
2. 新幹線の風速計が風速30m/s以上を記録し規制値を超えた為、運転を見合わせたとされている。規制値を超えた風速計の設置箇所を明らかにすること。
3. 東海道新幹線で規制値を超えた風速計の、8月23日21時から8月24日4時までのデーターを全て明らかにすること。
4. 台風20号で影響を受けた列車本数及び旅客数を詳細に明らかにすること。また、のぞみ265号（新大阪行き）及び、のぞみ64号（東京行き）の終着駅到着時刻を明らかにすること。
5. 新幹線運転再開に至るまでの、「緊急巡回」等の安全確認の詳細について全て明らかにすること。
6. 新幹線運転再開後、のぞみ98号（名古屋行き）が京都～米原間で異音を感知し緊急停止した。その詳細を明らかにすること。
7. 新幹線乗務員で労働外時間が僅少で睡眠なしで、乗務した乗務員総数(全運輸所)を明らかにすること。
8. 労働外時間が僅少となり睡眠が取れない乗務員に対して、代替乗務員が必然と考える。会社の見解を明らかにすること。